

小牧市障害者団体連絡会が発足しました

2月24日（日）、小牧市障害者団体連絡会が無事発足しました。

昨年度は、ここばかりこまきが、「障害者団体ネットワーク推進事業」として市民活動助成金をいただき、玉木幸則さんを招いた講演会や、それを受けての交流会を開催しました。そして関心をもっていただいた15団体に声をかけ、そのうち5団体から、設立準備会に参加すると応じていただきました。

今年度は、その5団体で、小牧市障害者団体連絡会設立準備会を立ち上げ、市民活動助成金の団体助成をいただいて1年間活動をし、この日を迎えることができました。

スタートは、正会員5団体、賛助会員3団体ですが、これから少しずつ賛同される団体が増えればうれしいです。

正会員の5団体は、小牧市障害者団体連絡会設立準備会のメンバーです。この1年間いっしょに設立に向けて取り組んでいただきました。賛助会員の3団体は、団体連絡会の趣旨には賛同するものの、現状自分たちの活動で手一杯など、それぞれの事情で賛助会員として活動に参加したいとの意向ですが、仲間が増えてたいへんうれしく思っています。



▲設立記念講演会で、小牧市障害者団体連絡会設立の挨拶をする、古木茂代表。

同日、高森裕司弁護士を講師に迎えて開催した設立記念講演会には、60名の方が参加してください。高森弁護士の講演と当事者のみなさんとの意見交換で、連絡会設立の意義は、より理解していただけたものと感じました。（詳しくは2頁の報告をご覧ください）

これから、ゆっくりとしたあゆみですが、みなさんのご支援をお願いします。

（共同代表 山中和彦）

小牧市障害者団体連絡会会員

【正会員】5団体

ここばかりこまき / 小牧市おもちゃ図書館きらら / 小牧市肢体不自由児者父母の会/小牧市難聴・中途失聴者協会 / しきの会

【賛助会員】3団体

小牧市聴覚障害者福祉協会 / 小牧おひさまクラブ / 手話サークルおてだま

小牧市障害者団体連絡会設立記念講演会報告

テーマ「障害のある人の現在（いま）とこれから」 ～みんなでつくろう、やさしいまち～



▲参加者は、障害のある方、もしくは普段から障害のある方とかかわりがある方が多く、高森弁護士の話に熱心に耳を傾けました。

2月24日、「障害のある人の現在（いま）とこれから」～みんなでつくろう、やさしいまち～というテーマで高森弁護士のお話を聞きました。「障害者は不幸を作ることしかできません」「日本国」「世界平和」「全人類」のためにと、津久井やまゆり園という障害者施設で元職員が、多くの障害者を殺傷した相模原事件、杉田議員が「子供を作らない、つまり『生産性』がない、そこに税金を投入するのが果たしていいのかどうか」とLGBTの人に対して、国の役に立たないというような意味の発言をしたこと、その二つに同じような発想があるという内容から始まりました。

次に、高森弁護士が今手がけている優生手術被害者支援の活動、「優生保護法による強制不妊手術」についての話がされました。1996年まであった優生保護法は、「優生上の不良な子孫の出生を防止する・・・」という文言で、本人の尊厳を考えずに周りの都合で手術や生命淘汰を押しつけるというもので、人の価値を他人（国）

の役に立つかどうかで考える思想＝差別の根源であるという話もされました。この考え方は優生保護法が無くなった今でも根強くあると思いますが、最近新聞紙上によく掲載されている出生前診断において、胎児に障害の可能性が高いとされると、90%以上が中絶されてしまう現実も同様の考え方が背景にあると思います。

そして、これからの手がかりとして、憲法13条の「個人の尊厳」の意味の大切さ、「国のため、全体のために、ある特定の人を犠牲にしてはいけない」という話もありました。昨今は、障害者権利条約や障害者基本法、障害者差別解消法、障害者雇用促進法、障害者虐待防止法等の法律ができたことにより、障害者に不利益にならないように合理的配慮をするという手がかりがみえてきたことや、ねばり強い取り組みの中で少しずつ適切な支援が広がってきている等の話もあり、発信して連携していくことの大切さを学びました。

（御手洗真由美）

小牧市障害者団体連絡会設立記念講演会アンケートより

小牧市障害者団体連絡会への期待や要望

- ・個々の力では変えられない社会を「つながって→ひろげて」ほしいです。まだまだ差別（意識）はある。少しずつ変わっていけるよう活動を期待しています。
- ・いろいろな障害に関する問題を互いに情報交換をしたり、共通の問題として話し合えたりする場として、貴重な会となると思います。
- ・他の障がいの理解と広く市民の方へもわかっていただき、すみよい町になるように。みんなが困らない、使いやすいなど、それぞれの障がいへの特性もふまえて考えられるようにしたい。
- ・たくさんのすばらしいボランティア団体があることが分かったので、今後このことが周りに知れわたるようになってほしい。と思うと同時に、これからは積極的に知ろうとしていきたいと思った。

今回の講演会の企画・運営などについて

- ・とても分かりやすく、まとめてお話ししていただいたので、勉強になりました。講話のあとに意見交換会に時間をとったことはとてもよかったと思います。当事者さんからの生のいろいろな意見が聞けてよかったと思います。
- ・とても気づきの多い学習会でした。もっとしっかり いろいろ きちんと（深く）学べると良いなと思いました。

*このほかにも、たくさんのご意見・ご感想をいただきました。ありがとうございました。

活動かほく①

おもちゃであそぼうDAY 冬のクッキング 鍋パーティー！

小牧市おもちゃ図書館きらら

2月17日（日）おもちゃであそぼうDAYで「鍋パーティー」を企画し、21名の親子とボランティア6名が参加しました。年に4回開催するあそぼうDAYの中でも、クッキングは人気で、おとなも子どももいっしょになって、材料をちぎったり、まぜたりと、楽しく調理しました。これまでも、生ものを使わない手巻き寿司やお好み焼きなど、作ることも楽しめるようにと工夫をしていますが、ここでの体験をきっかけに、「これまで苦手だったものが食べられるようになった」とか、「おうちに帰ってからも、何度も作って食べています」といった嬉しい報告もあり、私たちの励みになっています。

（平手友子）



▲みんなで作ったお鍋は格別。
トマト鍋・とんこつ鍋・あごだし鍋の
3種類とも美味しくいただきました。



耳マーク啓発活動をしました



小牧市難聴・中途失聴者協会



▲この日の活動には9名が参加しました。

3月3日は、ひな祭りですが、「耳の日」でもあります。難聴協会では、毎年、アピタ小牧店の許可を得て、3ヶ所の出入口で、耳マークの周知と難聴の理解・対応方法を知ってもらうことを目的に、チラシと耳マーク付きティッシュを来店客に配布しています。

今年も会員と「要約筆記こまき」サークル員とで、チラシ300枚とティッシュ450個を小雨の中で配りました。

当日は日曜日で、家族連れも多かったのですが、受け取り拒否も結構あり、年々配布の難しさを感じます。

高齢者の中には「私も聞きづらくなっている」と話してくださる方もありました。

一人でも多くの方に「耳マーク」知ってもらい、チラシを最後まで読んでいただければ…と願って、90分ほどの活動をしました。



▲この活動をはじめ今年で14年目となります。



3月11日には

「NPO法人愛知県難聴・中途失聴協会 耳マーク普及啓発活動」として、金山総合駅連絡通路橋にて、難聴者9名と支援者8名の計17名で、約800枚のチラシと耳マーク付きティッシュを配布しました。小牧難聴協会からは3名の会員が参加しました。

(古木茂代)

◀金山総合駅連絡通路橋で、耳マークのプラカードを目印に、道行く人に声をかけました。

小牧市障害者団体連絡会（準備会）通信 2019年3月発行
〒485-0811 小牧市光ヶ丘1-1 アクシス光ヶ丘4-403（山中）
ファックス 052-308-6867（インターネットファックス）
メールアドレス mail@komaki-sdr.sakura.ne.jp
ホームページ http://komaki-sdr.sakura.ne.jp



ホームページ